

静岡県川根本町防災ステーション情報等事業・事業概念図

【別紙1】

凡例

- 赤 補助
- 青 自主財源
- 緑 民間事業者

全体概要
発災時後、避難所開設から避難所閉鎖までの期間、地域住民の情報支援を行う。
要点
自治体の持つ災害情報の提供とマスメディアから提供される情報、避難者が家族との情報伝達をする手段として活用するために、緊急時の重層的なインターネットの接続手段を設けることで、防災、減災を実現する。

【無線LANによる情報配信】

- 回線は、自治体が整備するネットワークを活用する。(IRUで東海ブロードバンドサービスへ提供)
- 配信内容は、平常時は行政情報、観光情報、営利企業情報など提供をし、発災時は避難情報などの緊急情報を提供



東海ブロードバンドサービスネットワークセンター

避難場所

町の自主財源により
避難所5カ所にAP設置を予定

避難場所

民間の事業者により
避難所5カ所にAP設置を予定

千頭駅

川根本町は観光地であるためその拠点となる千頭駅をWIFIエリアとすることで、発災した際の観光客対策とする。

平常時は、観光客への有料サービスを提供し緊急時は無料開放を予定
(有料接続の際は、認証を取る)

本庁 (AP2カ所)、総合支所 (AP 2カ所)、B&G海洋センター (AP2カ所)、文化会館 (AP 1カ所) のエリアを作る。

川根本町役場
本庁

川根本町役場
総合支所

B&G
海洋センター

文化会館